

認定オキュペイショナルハイジニスト評価試験要綱

1. 受験資格

公益社団法人日本作業環境測定協会（以下、「日測協」という。）が実施する「認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座」（以下、「養成講座」という。）を修了して所定の93単位を取得している者は、「認定オキュペイショナルハイジニスト評価試験」（以下、「評価試験」という。）を受験することができる。

2. 試験科目・試験時間

評価試験は、下記の多肢選択式（イおよびロ）ならびに記述式（ハ）からなる筆記試験により行う。

イ	多肢選択式Ⅰ（4肢択一）	40問	2時間
ロ	多肢選択式Ⅱ（4肢択一）	30問	1時間30分
ハ	記述式	3問（4問から選択）	2時間30分

3. 出題範囲

試験問題は、「養成講座の講習内容の理解度を確認する」問題とする。また、出題の方針としては、「オキュペイショナルハイジニストに必要な知識」にとどまらず、「現実の課題へのオキュペイショナルハイジニストとしての対応力」もはかる問題とする。

出題範囲は、以下のとおりとする。

(1) 多肢選択式

- ① 「化学物質等のリスクアセスメント・リスクマネジメントハンドブック」のうち別紙で示す出題範囲
- ② 「労働衛生工学とリスク管理」のうち別紙で示す出題範囲
- ③ 上記①②の他に、養成講座における講義資料（平成25年3月以降）に示した内容

(2) 記述式

上記多肢選択式の出題範囲と同様とし、以下の分野又は以下の分野の複数が関連した内容（いずれも計算を含む場合がある。）

- ① ハザード評価
- ② ばく露評価
- ③ リスク評価(事例研究も含めて)
- ④ リスク管理(事例研究も含めて)
- ⑤ 法令一般

4. 合格基準

- (1) 多肢選択式、記述式ともそれぞれの得点が満点に対して60%以上である場合を合格とする。
- (2) 多肢選択式の得点が満点に対して70%以上であり、記述式の得点が満点に対し60%に満たなかった受験者に限り、次回1回に限り記述式のみを受験を認めるものとし、その得点が満点に対し60%以上であった場合は合格とし、(1)の基準を満たすものとする。

5. 試験合格証

養成講座を修了して所定の93単位を取得している者が、評価試験に合格したことを日測協会長が認定した場合に、別に定める評価試験合格証を交付する。

附則 本要綱は平成22年1月1日から施行する。

附則 本要綱は平成26年1月25日から施行する。

附則 本要綱は平成29年6月30日から施行する。

附則 本要綱は令和2年7月22日から施行する。